



# 平成17年3月期 第1四半期財務・業績の概況(連結)

平成 16年 8月 10日

上場会社名 日本油脂株式会社

(コード番号: 4403 東証第一部)

(URL <http://www.nof.co.jp>)

代表者 代表取締役社長 中嶋 洋平

問合せ先責任者 経理部長 高林 建一 ( 03 - 5424 - 6600 )

## 1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有

(投資者等利害関係者の判断を大きく誤らせない範囲で一定の簡便な手続きを採用しております。)

最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 有 連結(除外) 1社

## 2. 平成17年3月期第1四半期財務・業績の概況(平成16年4月1日~平成16年6月30日)

(1)経営成績(連結)の進捗状況 (注)金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
17年3月期第1四半期	31,371	5.1	1,949		2,253		1,141	
16年3月期第1四半期	33,060							
(参考)平成16年3月期	137,478	0.9	7,599	6.3	7,547	7.4	4,083	76.9

	1株当たり 四半期(当期)純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益
	円 銭	円 銭
17年3月期第1四半期	5.69	5.32
16年3月期第1四半期		
(参考)平成16年3月期	19.86	18.80

(注) 売上高におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示します。

前期は売上高のみ開示しましたので、売上高以外の前年同四半期の数値及び増減率については記載しておりません。

### [経営成績(連結)の進捗状況に関する定性的情報等]

わが国経済は、好調な輸出や設備投資、個人消費の持ち直しなどを背景に、企業収益や企業の景況感に幅広い分野で改善が見られるものの、先行き不透明な米国経済や長期金利の上昇傾向など、予断を許さない情勢であります。また、グローバルな競争が益々厳しくなる中で、原油を始めとする一次産品価格の高騰など、厳しい企業環境が依然として続いております。

当社を取り巻く環境におきましても、油脂原材料価格、石油関連原材料価格が高止まりするなか、国内外における企業間競争が一段と激化するなど、厳しい状況で推移しました。

このような状況のもと、基幹事業の強化と新規開発事業の早期育成に取組むと共に、高付加価値製品の拡販、原材料高に呼応した製品価格は正などに努め、収益基盤の強化を進めてまいりました。

以上の結果、当第1四半期(平成16年4月1日から平成16年6月30日まで)の売上高は313億7千1百万円となりました。昨年来実施いたしました連結子会社の売却により、前年同期と比べ5.1%の減収となりましたが、現有事業の前年同期比較では売上高は微増しております。営業利益につきましては原材料価格高騰の影響を受けましたものの19億4千9百万円となり順調に推移しました。また、経常利益は22億5千3百万円、当期純利益は11億4千1百万円となりました。

### 油脂製品事業

脂肪酸及び脂肪酸誘導体は、合成樹脂、化粧品業界の需要が堅調であり、トナー用特殊ワックスなどを始め全般に売上を伸ばしました。食用加工油脂は、消費者嗜好の多様化や競争の激化など厳しい営業環境ではありましたが、製パン分野での拡販や当社の独自技術を駆使した改質材が好評であったこと、また健康食品関連は、関連業界が好調であるなか医療栄養食品分野に新製品を投入したことなどもあり、いずれも売上を伸ばしました。

食品の安心と安全を基本理念とする食品新工場(大師工場)は、計画通り6月から順調に稼働を開始しております。

油脂製品事業の売上高は138億4千1百万円、営業利益は油脂原材料価格の高騰などもあり2億3千7百万円となりました。

## 化成製品事業

有機過酸化物は、関連需要業界である合成樹脂の好調により、また、機能性ポリマー、反射防止フィルムも関連業界の好調に牽引され、いずれも売上を伸ばしました。反射防止フィルムは新設備が本格的に稼動し生産能力が倍増したことから、今後さらに成長が期待されるプラズマディスプレイパネルなどの需要に十分対応できる体制が整いました。

生体適合素材のMPC関連製品は、酵素を配合したハードコンタクトレンズ用洗浄保存液が好評で、また、化粧品分野でも、スキンケア市場、ヘアケア市場においてMPCの保湿性と皮膚及び毛髪保護効果が高く評価されたことから、いずれも売上は増加しました。

化成製品事業の売上高は112億8千万円、営業利益は12億9千1百万円となりました。

## 火薬・加工品事業

産業用爆薬は需要減少の影響により、ロケット用推進薬は打ち上げ計画変更により、いずれも売上は減少しました。一方、自動車用安全部品は順調に拡販が進み、その他製品では大陸棚調査用の海底地震計切離し装置の納入やトンネル掘削用補助資材が好調であったため、いずれも売上は増加しました。

火薬・加工品事業の売上高は57億9千9百万円、営業利益は4億4千万円となりました。

## その他の事業

運送事業及び不動産事業は前期並に推移しました。

その他事業の売上高は4億5千万円、営業利益は3千万円となりました。

## (2)財政状態(連結)の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
17年3月期第1四半期	189,419	73,218	38.7	365.11
(参考)平成16年3月期	190,159	72,271	38.0	360.20

(注)当期より開示しますので、前年同四半期の数値については記載しておりません。

## [財政状態(連結)の変動状況に関する定性的情報等]

当第1四半期末の総資産は、前期末に比べ7億3千9百万円減少し、1,894億1千9百万円となりました。

増減の主な内容は、資産では現金及び預金が33億5千3百万円減少した一方、たな卸資産の増加12億8千2百万円、投資有価証券を中心に投資その他の資産が17億2千8百万円増加いたしました。

負債では有利子負債が18億4千4百万円増加した一方、支払手形及び買掛金の減少9億8千3百万円、未払法人税等を中心に流動負債のその他が14億3千4百万円及び退職給付引当金が6億9千7百万円減少いたしました。

資本は、主に利益剰余金及びその他有価証券評価差額金の増加により9億4千6百万円増加いたしました。

## 添付書類

(要約)四半期連結貸借対照表、(要約)四半期連結損益計算書、セグメント情報

以上

## [参 考]

平成17年3月期の連結業績予想(平成16年4月1日～平成17年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
中間期	63,000	4,000	2,300
通 期	135,000	9,000	5,000

(参考)1株当たり予想当期純利益(通期) 24円 93銭

## [業績予想に関する定性的情報等]

当社グループの業績は概ね予想通りに推移しており、業績予想の見直しは行なっておりません。

業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

〔添付資料〕

## 1. (要約)四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

期 別 科 目	当第1四半期末 (平成16年6月30日現在)	前連結会計年度末 (平成16年3月31日現在)
	金 額	金 額
( 資 産 の 部 )		
流動資産	72,685	75,022
現金及び預金	9,349	12,703
受取手形及び売掛金	33,163	34,334
たな卸資産	21,085	19,803
その他	9,086	8,180
固定資産	116,734	115,137
有形固定資産	62,110	62,188
無形固定資産	1,145	1,198
投資その他の資産	53,478	51,750
資産合計	189,419	190,159
( 負 債 の 部 )		
流動負債	70,738	76,146
支払手形及び買掛金	22,391	23,374
短期借入金	14,998	15,522
1年内償還予定社債	9,000	9,000
1年内返済長期借入金	5,410	7,269
未払費用	7,736	8,343
その他	11,201	12,636
固定負債	42,131	38,381
社債及び長期借入金	25,592	21,365
退職給付引当金	4,411	5,109
その他	12,127	11,907
負債合計	112,869	114,528
( 少 数 株 主 持 分 )		
少数株主持分	3,332	3,359
( 資 本 の 部 )		
資本金	15,994	15,994
資本剰余金	13,381	13,381
利益剰余金	35,433	34,965
その他有価証券評価差額金	10,124	9,513
為替換算調整勘定	976	816
自己株式	739	767
資本合計	73,218	72,271
負債、少数株主持分及び資本合計	189,419	190,159

## 2. (要約)四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	期 別	当第1四半期 〔自平成16年4月1日〕 〔至平成16年6月30日〕	前連結会計年度 〔自平成15年4月1日〕 〔至平成16年3月31日〕
		金 額	金 額
売上高		31,371	137,478
売上原価		22,843	101,009
売上総利益		8,528	36,468
販売費及び一般管理費		6,578	28,869
営業利益		1,949	7,599
営業外収益		593	1,491
営業外費用		290	1,543
経常利益		2,253	7,547
特別利益		154	2,804
特別損失		278	2,081
税金等調整前 四半期(当期)純利益		2,129	8,270
税金費用		965	3,965
少数株主利益		22	221
四半期(当期)純利益		1,141	4,083

### 3. セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

当第1四半期

(単位：百万円)

	油脂製品 事業	化成製品 事業	火薬・加工品 事業	その他の 事業	計	消去又は 全社	連結
売 上 高							
(1) 外部顧客に対する売上高	13,841	11,280	5,799	450	31,371		31,371
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	2	276	5	889	1,174	(1,174)	
計	13,843	11,556	5,805	1,339	32,545	(1,174)	31,371
営 業 費 用	13,606	10,265	5,364	1,309	30,545	(1,123)	29,421
営 業 利 益	237	1,291	440	30	1,999	(50)	1,949

前連結会計年度

(単位：百万円)

	油脂製品 事業	化成製品 事業	火薬・加工品 事業	その他の 事業	計	消去又は 全社	連結
売 上 高							
(1) 外部顧客に対する売上高	52,326	48,236	35,090	1,824	137,478		137,478
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	398	1,171	266	3,325	5,161	(5,161)	
計	52,724	49,408	35,356	5,150	142,640	(5,161)	137,478
営 業 費 用	51,294	44,890	33,787	5,071	135,044	(5,165)	129,879
営 業 利 益	1,430	4,517	1,569	78	7,595	3	7,599